

■三クラブ合同例会卓話 千葉東ロータリークラブ 会長 吉田 朋 令 様

皆さんこんばんは。私は今年度千葉東 RC の 26 代目会長をさせて頂いております、吉田朋令と申します。よろしくお願い申し上げます。

本日は当クラブの親クラブであります千葉西 RC と、同じく西 RC を親クラブとします、いわば兄弟クラブともいえます千葉若潮 RC との三クラブ合同例会を開催することが出来まして、準備にご尽力いただきました三クラブの幹事さん及びメンバーの皆様、東 RC を代表致しまして厚く申し上げます。

今回の三クラブ合同例会は、若潮 RC 清水会長より今年の 2 月頃に当クラブも交えての会員相互の親睦を深める目的での合同例会のお話を頂き、私としましては二つ返事で了解し今日の日を迎えることが出来ました。RC には「奉仕と親睦」という二本の柱があると私は理解しております。



その意味で今回は親睦を「人と人とのご縁」という言葉に少し置き換えて、私の RC 歴と RC 感をお話させて頂きたいと思っております。

私はこうして今、会長の責務を任されておりますが、実はロータリー歴は 8 年目という他クラブの会長さんに比べれば非常に経験の浅いロータリアンの端くれであります。

但し私は 4 年目と 6 年目に 2 回の幹事経験を積ませ頂きまして、その意味におきましては短期間で非常に中身の濃い充実したロータリーライフを送らせて頂く事が出来ました。

最初の東 RC 入会のご縁は、西クラブの会長エレクトであります大森先生であります。8 年前の 4 月頃だったと思いますが、大森先生主催のあるセミナーに私がオブザーバーとして参加させて頂いた際に、懇親会の席で当時当クラブの会長でした曾我 PP と高山 PP と名刺交換をさせて頂き、私の会社が海浜幕張のテクノガーデンでしたので、月曜日の晩にニューオータニに晩御飯を食べに来ないかというお誘いにまんまと乗りまして、伺った先が当クラブの例会でした。

そしてその年、46歳の6月に入会致しました。右も左も解らぬまま、とにかく毎週月曜日の 18:30 には例会に行き緊張しながらご飯を食べて 1 時間が終わる、そんな最初の 1 年間でした。

そして 2 年半ぐらいが経ちようやく少し慣れた頃に、最初の幹事の話がありました。私の勤務先はアメリカの企業ですが、RC との共通点で頼まれたら何事も「イエス or はい」の精神での会社の教えで引き受けることにしました。

この 4 年目で幹事という RC での要の仕事させて頂けたのが、今の自分にとって大変大きな経験であり転機になったことは確かです。

そして 3 年目の副幹事の時に当時幹事の加藤 PP と初めて合同幹事会に出席をして、その時初めて他クラブの方たちと交流させて頂くことが出来ました。

その時の西クラブの幹事が、今も大変お世話になっております藤崎先輩であり最初のご縁であります。その時の合同幹事会の 2 次会で、藤崎さんにはいろいろとお気遣い頂き話をさせて頂きまして本当にありがとうございました。そして翌年幹事になりまして、若潮 RC 平山ガバナー補佐の下、西 RC では花光先輩、若潮 RC では林田 PP と一緒に幹事をさせて頂き、同期幹事 6 人の方たちのご縁が出来ました。現在も定期的に平山会として親睦を深めており、私のロータリアンとしての基礎を作った 1 年間といっても過言ではないと思っております。そしてどう言う訳か 1 年空けて直ぐに 2 回目の幹事を引き受けることになりました。

一昨年になりますが新千葉 RC 森嶋ガバナー補佐の下、西クラブ野城先輩と若潮 RC の松原さんにご縁を持つことが出来ました。親クラブであります西クラブの花光先輩と野城先輩には色々とお話させて頂く事も多く、花光先輩にはロータリアンとしての心構えや理念を教えて頂き、野城先輩にはロータリアンとしてやってはいけない事などをご自分の経験をもとに親切丁寧に教えていただきました。本当にありがとうございました。

そして今年度新しく西クラブの遠藤会長、若潮 RC の清水会長との素晴らしいご縁を頂きまして、本当に感謝致しております。余談ではありますが、私が最初にご縁を持たさせて頂きましたのは昨年ガバナー補佐を務められました西 RC の山本 PP であります。私は前職旅行会社の営業を 32 歳までしてございまして、その時に山本 PP が私が担当してございました業界の旅行に毎年参加させて頂いて、そのご縁で会社の旅行も担当させて頂いてございまして、初めて西 RC にお邪魔したときには本当にびっくりしまして、すぐにご挨拶させて頂きました。

さて最近会員増強・退会防止という言葉をよく耳にしますが、いろいろなセミナーでも入会 2~3 年目の会員の退会が多いようです。私はロータリー活動とは頭と体の両方をバランスよく使って具体的に実践するものだと考えております。頭とはロータリーの理念や想いの部分を理解し、身体とはそれを行動に移し実践することだと思っております。振り返りますと私は最初の 3 年間はとにかく例会にできる限り出席する事だけを心掛けてきました。

即ち体を使う一番の基本は「例会に参加」することだと思っております。そして自クラブだけではなく、出来るだけ早い機会に今回のように他クラブの方たちとの交流の場に積極的に参加して頂ければ、ロータリーライフをより一層充実したものになると確信しております。

私に取りましては正に 4 年目と 6 年目に幹事をやらさせて頂き、他クラブの多くの方たちにご縁を持てるようになったことが、何にも代えられない宝物になりました。今後もいろいろな形でより良いご縁が出来ますように頑張りたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

■三クラブ合同例会卓話 千葉若潮ロータリークラブ 会長 清水 隆 様

本日はお忙しい中、3 クラブ合同例会にご参加いただきました皆様には、感謝しております。ありがとうございます。そして今後も 3 クラブ合同例会を続けて開催出来るよう各クラブの会長エレクトにお願い申し上げます。どうか宜しくお願い致します。



私が聞いている 3 クラブ合同例会は、亡き大塚特別代表が親クラブと子クラブの交流を深める為の例会と聞いておりました。私の入会当初は、当然ながら合同例会を開催する意味も判っておりませんでした。単なる親クラブと子クラブの関係だから、位にしか感じていませんでした。ですが私も入会 10 年目を迎え、これでも一応!! 今年度会長の肩書を背負っています。今だからこそ 3 クラブ合同例会を開催する目的が何であるかを少しずつ解ってきたと、私なりに思っております。

合同例会で交流を深めることに意義(目的)を見出すことが重要であると私は思っております。

知り合いを広め、繋がりを深める事で情報の共有となります。いい悪いは別として多くの情報を得られる場所(例会、インフォーマルミーティング、セミナー他にも色々ありますが)それに参加することで、より良いロータリー情報を共有する交流の場だと思っております。

